

一般質問通告順序表

No.1 (令和5年9月5日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	田畑 和彦	市長 教育長	<p>1. 多文化共生推進について</p> <p>(1) 多文化共生推進に関する活動や今後の懇話会などの取組（計画）はどのようなか。</p> <p>(2) ウクライナ避難民の支援について伺う。</p> <p>2. 教育環境の整備について</p> <p>(1) 体育館などへのエアコン設置について</p> <p>① 学校現場での環境は、体調不良や集中力の欠如、学ぶ意欲喪失、熱中症につながる。現状をどのように認識しているか。</p> <p>② 体育館や利用頻度が高い理科や音楽の特別教室へのエアコン設置計画について伺う。</p> <p>(2) 校内樹木の落葉対策について</p> <p>道路冠水の原因、近隣住民からの苦情等への対応について伺う。</p> <p>(3) トイレの臭いについて</p> <p>換気が悪く、便器も古いトイレがある。ひどい臭いで使いたくないという声への対応について伺う。</p> <p>(4) 放課後児童クラブの課題解決について</p> <p>① 建物の老朽化への対応（支援）について伺う。</p> <p>② 学童クラブの定員、待機者について伺う。</p> <p>③ 支援の必要な児童（グレーゾーン）への対応について伺う。</p> <p>④ 放課後児童クラブ連絡協議会設置への支援について伺う。</p> <p>3. DX推進について</p> <p>(1) DX推進計画の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 推進体制及び取組、考え方について伺う。</p>
2	東 育代	市長 教育長	<p>1. 男女共同参画基本計画の推進について</p> <p>(1) 推進体制と具体的な整備計画について伺う。</p> <p>(2) 施策を効果的に推進するための取組・考え方について伺う。</p> <p>2. 児童・生徒の熱中症対策について</p> <p>(1) 県外の市において、「毎日暑いです…」と小学生が市長に直訴した手紙をきっかけに、ランドセルに装着する保冷パッドを市内の全小学生に配布されたと報道がありました。本市での熱中症対策は、どのようにしているのか伺う。</p> <p>① 服装等について</p> <p>② 教科書等について</p> <p>③ カバンについて</p> <p>(2) 中学校の部活動等の対応について伺う。</p>

3	江口 祥子	市長	<p>1. 重層的支援体制の整備について 社会福祉法の改正により、国は断らない相談支援を含めた重層的支援体制事業を創設した。 (1)断らない包括支援体制として、相談支援や地域づくり事業などと連携しながら実施されると思うが、本市の重層的支援体制整備事業の概要及び現状について伺う。 (2)重層的支援体制が整備されることにより、すぐに複雑化した課題が解決できるものではないが、事業を実施することによる効果などを伺う。</p> <p>2. 給水スポットの設置について プラスチックごみの削減とマイボトルの普及につなげるため、給水スポットの設置に取り組む自治体が増えてきている。 本市でもペットボトル削減のためのマイボトルの利用促進や水資源を大切にするという観点から給水スポットを設置する考えはないか伺う。</p>
4	原口 政敏	市長 教育長	<p>1. 冠水対策の状況について まぐろの館付近の冠水対策については、「内水氾濫浸水対策事業」として、本年度は調査設計が予算計上されているが、工事完了までの期間、大雨が降った際の対応はどのように考えているか。 また、どのような工程・工法で、いつ頃工事が行われるのか住民は知らないため不安があると思うが、住民への説明会は行わないのか。</p> <p>2. 障がい者の処遇改善について 市内の企業では障がいをお持ちの方が多く働いているが、悪質ないじめや叱責など、パワハラ的な対応はないのか。 障がいがあっても働きやすい環境を整えることが、これからは必要と考えるが、市が困っている方の相談を受けたり、企業へ指導するなどの対策は行えないのか。</p> <p>3. 熱中症、水難事故防止の指導について 県内、県外において、熱中症や水難事故で若い子どもたちの尊い命が失われている。本市の小中学校において、熱中症対策、水難事故防止対策の指導は、どの様に行われているのか。また、本市における夏休み期間中の事故等の報告はなかったのか。</p> <p>4. 大里川の改修事業について 今年も全国各地で線状降水帯による川の氾濫など、甚大な災害が発生している。大里川も大雨による氾濫の危険性があり改修工事が急がれているが、進捗がかなり遅れていると感じている。早期完成を県に強く要請すべきではないか。</p>

一般質問通告順序表

No.2 (令和5年9月6日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
5	高木 章次	市長 教育長	<p>1. 川内原発について</p> <p>(1) 規制委員会と九電に対する要請書への県民の意見募集は延長運転の賛否に対するものではなかった。県民そして本市市民の賛否の考えを何らかの方法で確認すべきと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 基準地震動が規制委員会の審査会合で九電の報告より大きく見直しされ、今後耐震性の確認の審査となる。本市が県の要請書案に対して提出した意見書の「2-(1)-②新規規制基準による基準地震動の審査等への早期の対応を求めること。」の早期の対応とは安全対策工事を早急に行うことと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 安定ヨウ素剤の配布は希望者の申請数は低下し、申請者の約半分は希望したにもかかわらず受け取れていない。どう改善すべきか、市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 九電は川内原発を20年運転延長するためには、敷地内か敷地外に乾式貯蔵施設の建設が前提であることを説明しない。このことをどう考えるか、市長に伺う。</p> <p>(5) 本市が県の要請書案に対して提出した意見書の「温排水等の影響に係る調査を充実するとともに、その調査内容・結果をわかりやすく説明すること。」とある。調査を充実とあるが、具体的に提案しているのか。膨大な海水の取水排水による影響が延長運転となれば20年続くことになる。県に対して、海水の取水排水による影響評価を求めるべきではないか、市長の考えを伺う。</p> <p>2. 有機農業拡大と学校給食について</p> <p>(1) 地方自治体やJA、生協、市民団体、有機栽培の生産者など学校給食に有機農産物を拡大しようと全国オーガニック給食協議会が6月2日に発足した。まだわずかだが学校給食に有機野菜の使用を始めた本市も参加すべきでないか、市長に伺う。</p> <p>(2) 具体的な目標とスケジュールを設定しなければ有機農業の拡大は実現できないのではないか。たとえば来年度から5年間の有機農業実施計画を検討すべきでないか、市長に伺う。</p>
6	吉留 良三	市長 教育長	<p>1. 食のまちづくり基本計画について</p> <p>(1) 地産池消の推進の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 付加価値向上の現状と課題について伺う。</p> <p>(3) 地域の特性を活かした本市の目指す農業の方向性をどう考えるか。</p> <p>2. 中山間地域の振興について</p> <p>(1) 中山間地域を守る対策の強化について</p> <p>①鳥獣害対策をどのように進めるか。</p> <p>②道路の補修・改修など、地域環境の整備強化が必要ではないか。</p> <p>3. 学校の統廃合について</p> <p>特認校制度など、小規模校の教育効果をどう評価しているか。</p>

7	中里 純人	市長	<p>1. 消防行政について</p> <p>(1) 高齢化の進展で救急需要の増加が見込まれる。消防の体制は十分か。</p> <p>(2) 「消防操法大会」の見直しが進んでいるが、本市の現状はどうか。</p> <p>(3) 「救急安心センター事業」について本市の見解を伺う。</p> <p>(4) 「いちき分遣所」の統合に向けて検討は進んでいるか。</p> <p>2. 環境問題について</p> <p>(1) 環境基本計画の基本目標と見解について伺う。</p> <p>(2) 海岸の整備について</p> <p>① 「拾い箱」の運用並びに市来海岸への設置について伺う。</p> <p>② ビーチクリーナーの導入を検討できないか。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>感染した人が5類移行前より増えている感じだが、公表のあり方が分かりにくいとの声がある。医療機関と協力して把握できないか。また、予防啓発に力を注ぐべきではないか。</p>
8	大六野 一美	市長 教育長	<p>1. 廃校跡地の利活用について</p> <p>(1) 廃校跡地は、どのような形での利用が可能なのか。規制や制限はあるのか。</p> <p>(2) 廃校になって早2年になろうとしている冠岳小学校の活用をどのように考えているか。</p> <p>(3) 今まで同様に冠嶽芸術文化村構想と並行して活用していくつもりなのか。</p> <p>(4) 今後の学校統廃合により、廃校となる学校が出てくると思うが、今から活用策を考えておくべきではないか。</p> <p>2. ふるさと納税寄附金の使い方について</p> <p>(1) これまで、財源不足に少しずつ分割して充てられている感じを受けるが、寄付者の意思や想いが活かされていないのではないか。寄付者からも何に使われているのか、よくわからないという声を聞く。市としての活用策の考え方を伺う。</p> <p>(2) 大きく見える形で、重要な施策や事業に重点的に充当するなど、思い切った予算を計上すべきではないか。</p>